

◎ 会員だより

1月号の「基礎から学ぶインフラ講座（基礎から学ぶ道路事業）」を読みました。道路について分かっているつもりでしたが、改めて知ることがとても多く、自分の仕事を見つめ直すよい機会となりました。
匿名希望（市町村勤務、33）

12月号の「特集（社会資本のストック効果）」で、「本州四国連絡高速道路開通による整備効果」を読みました。この道路が整備されたことによって兵庫県に住んでいても四国を身近に感じているのですが、経済効果が数字として表れていることがわかりました。
匿名希望

1月号の「技術資格試験合格体験記（技術力を磨く好機に）」を読みました。技術士をはじめとした様々な資格試験に取り組み、知見を広げることにより、多角的な視点から業務に取り組みことができ、より良い仕事ができるのではないかと思います。
匿名希望（市町村勤務、31）

12月号の「上徳不徳（行政頼みの限界）」を読んで、諸外国がインフラ整備予算を伸ばしているなか、日本は半分削減しているという事実を初めて知りました。最近、国土強靱化として集中投資が始まっていますが、業界も衰退するなか、遅きに失した感はぬぐえないですね。
匿名希望（都道府県勤務）

橋梁工事を担当していますが、1月号の「インフラの魅力が伝わる広報へ（瀬戸大橋インフラツアーの取組み）」のように次世代に少しでもインフラの魅力が伝わるような広報をしていきたいです。
匿名希望（市町村勤務、33）

1月号の「表紙」の「牛根麓漁港の浮防波堤」は大水深に対して経済的に効果を発揮し、すばらしい構造物ですね。
匿名希望（都道府県勤務）

1月号の「会計検査情報」を読んで、ポンプの材料単価については、積算基準が土木工事と下水道工事の二通りあるので、間違えが生じたのはやむ得ないと感じました。今後、改善の処置として単価の決定に当たり特別調査を活用する旨を国が通知し、考えが整理されて良かったです。
匿名希望

1月号の「表紙」は、人の賑わいや技術的なものではなかったのですが、これはこれで印象が良かったです。
匿名希望（地方整備局勤務、48）

「第660回建設技術講習会（徳島市）」の大石会長による「インフラが再建する経済・財政」の講義では、建設国債の発行が将来へのツケではないという話が印象的でした。もっと詳しい話を聞きたいと思いました。
匿名希望

1月号の「パネルディスカッション（新しい時代における公務員技術者の使命）」では、公務員技術者としての心構えなどが書かれていて自分自身にも参考になりました。公務員技術者になって3年経ちましたが、これからの公共事業を考えるきっかけになりました。
匿名希望（都道府県勤務、25）

「第660回建設技術講習会（徳島市）」の「パネルディスカッション（新しい時代における公務員技術者の使命）」は、国、県、市の職員それぞれの特徴が出ていてよかったですと思います。
匿名希望

1月号の「特集（公共事業の生産性の向上にむけて）」は、自分にとってICT分野は未知の領域であるので、とても興味深い内容でした。
佐藤 雄太（都道府県勤務、30）

「第660回建設技術講習会（徳島市）」の現場研修で長安口ダム改造事業を見学しました。水理模型実験など自身が経験したことのない分野であったため、非常に興味深い現場でした。
匿名希望

1月号の「特集」で「大河津分水路改修事業におけるBIM/CIMの活用」を読みました。いろいろな技術で建設現場の生産性が向上されていくのは非常に良いことで、VR技術を活用した出来形確認等は是非一度体験してみたいと思いました。
匿名希望（市町村勤務、28）

「第660回建設技術講習会（徳島市）」で見学した長安口ダム改造事業におけるダム減水工の考え方は、河川等にも活用できそうなので参考になりました。
匿名希望

1月号の「災害査定留意点（河川護岸の留意点）」の内容は、私が査定時に実際に指摘されたことで、月刊「建設」の記事で改めて確認ができて、勉強になりました。
匿名希望（都道府県勤務、44）

「第660回建設技術講習会（徳島市）」の現場研修で四国横断道建設事業を見学しました。工事看板のQRコードを読み取ることで簡易VRが体験できて、説明もとてもわかりやすく面白い取組みで参考になりました。
匿名希望

1月号の「ひろば（「土木」ということばの歴史を辞書でたどる）」は、私が今まで考えたことがないことに着眼された内容で、「土木」の歴史を知ることができて大変興味深く拝見させて頂きました。
匿名希望

◎ 「会員だより」の投稿を募集

月刊「建設」に関する意見・感想・要望、その他の全建活動（建設技術講習会、伝承プロジェクト、公務員賠償責任保険等）に関する意見・感想・要望、業務上の悩み等をお寄せください。お寄せいただいた意見等は、今後の編集等の参考にさせていただきます。月刊「建設」の「会員だより」に掲載させていただいた場合は、クオカードを進呈いたします。詳細は全建HP上のバナーをクリックするか、下記のQRコードを読み取ってください。たくさんのご応募をお待ちしております。

一般社団法人全日本建設技術協会 事業課 峯脇・中嶋
TEL：03-3585-4546 / E-mail:kensetsu@zenken.com

